

通 告 質 問 一 覧 表

(平成29年9月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	7	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 公共交通について</p> <p>(1) 交通空白地域の解消に向け、どのような施策を考えているのか問う</p> <p>① 交通空白地域について現状はどうなっているのか</p> <p>② 総合計画の目標では平成31年度に3%以内としているが今後どのように進めるのか</p> <p>③ 昨年度末でバス・タクシー券が廃止された地域について、代替手段をどのように考えているのか</p> <p>2 町内会支援制度について</p> <p>(1) 今年度から実施されている町内会支援制度の状況について問う</p> <p>① 「行政協力報奨金」や「ご町内振り返り奨励金」の申請状況はどうか。また、その他の項目についてもどのような状況なのか</p> <p>② 多くの申請があり予算処理ができない項目もあると聞くが、当初の見込みはどうだったのか</p> <p>③ 地域集会所整備費補助金は翌年度交付となるが、急な修繕等が必要な場合の対応はできないのか</p> <p>④ 鳥獣（特にイノシシ）が家の周りや生活道路に出没することにより被害が出ている。集落を守るため町内会支援制度での対応は考えられないか</p> <p>3 教職員の労働時間短縮について</p> <p>(1) 学校現場における教職員の長時間労働が問題にされており、国や県、市でそれぞれ対応が求められているが、市としての対応について問う</p> <p>① 本市における教職員の時間外労働の実態はどうか</p> <p>② 時間外労働の削減目標はどのようなものなのか</p> <p>③ 文科省が教職員の長時間労働改善に向け、教職員の定数増や義務教育国庫負担金の増額を財務省に要求しているが、これにより市教職員の長時間労働がどのくらい改善されるのか</p> <p>④ 市として、時間外労働時間の削減に向けた具体的な対策はどのようなものを考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	9	2番 平 松 賢 司	<p>1 核兵器廃絶にむけた市長の政治姿勢と本市の取り組みについて</p> <p>(1) 高梁市長は平和首長会議へ加盟しているが、現在どのような活動をしているのか。また、非核平和宣言都市の市長としてどのような活動をしているのか</p> <p>(2) 本年8月開催の平和首長会議の総会で、何が話し合われ、何が決められたのか、特に核兵器をなくす問題について報告されたい</p> <p>(3) 「核兵器禁止条約」に対する高梁市長の認識を問う</p> <p>(4) 核兵器廃絶に向けた具体的な行動の1つとして核兵器廃絶を求める署名を市民に訴えるため、広報紙でのPRとともに市内の各行政機関の窓口に署名コーナーを設置したらどうか</p> <p>(5) 世界で唯一の被爆国である日本が「核兵器禁止条約」に参加するよう、市としても要請するべきではないか</p> <p>2 本市の林業振興について</p> <p>(1) 本市の林業経営の実態と今後の対応について、現在の振興施策を問う</p> <p>(2) 森林が荒廃し林業経営が困難な状況になっている原因を市としてどう分析しているのか</p> <p>(3) 高梁産木材を生かした林業振興施策の具体案を示すべきではないか</p> <p>(4) 市がリーダーシップを発揮して森林組合や林業関係者との協議会を設置してはどうか</p> <p>3 学校給食費の負担軽減、無償化について</p> <p>(1) 学校給食費の現状を問う</p> <p>(2) 学校給食費の負担を軽減し、無償化を実施するために係る費用はどのくらいなのか</p> <p>(3) 学校給食費の負担を軽減し、無償化することは全国的な流れになりつつある。実施に向けた年次計画の早期策定を求める</p>
3	10	17番 大 月 健 一	<p>1 高梁市政について</p> <p>(1) 認定農業者への補助を充実させるべきではないか</p> <p>(2) 川上町内の福祉施設の設備について、利用資格や条件を使用者へ丁寧に説明することが必要ではないか</p> <p>(3) 教育委員会の今後のあり方について</p> <p>① 統廃合した地域の児童・生徒は全て送迎するのか</p> <p>② 旧高山小学校の今後の活用を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	10	17番 大 月 健 一	<p>(4) 市道、農道の維持管理、災害時の対応について</p> <p>① 地域自身でも積極的に維持管理できるようにすべきと考えるが、市の見解を問う</p> <p>② 災害時の市の初動体制を充実させるべきではないか</p> <p>(5) 消防署業務について</p> <p>① 暑さ厳しい毎日であるが、今夏の熱中症は何人いたか</p> <p>② 救急に通報しても、なかなか話が伝わらず困ったとの声を聞く。署員全員が高梁市の地形を把握できているのか</p> <p>(6) 市の観光施設について</p> <p>① 市所有の公共施設を管理受託者が施設改修しなければならないのか</p> <p>② 弥高山山頂への歩道は修理しないのか</p> <p>③ 市の観光施設の道案内看板が、小さな施設だとなるところや、あっても見えにくいものもある。より一層の整備が必要ではないか</p>
4	12	3番 伊 藤 泰 樹	<p>1 高梁市住宅リフォーム事業費補助金について</p> <p>(1) 6月の定例議会で通告質問させていただいたが、高梁市住宅リフォーム事業費補助金の補正予算の考え方を問う</p> <p>① 補正予算の規模と制度の改善内容はどのようなものか</p> <p>② 現在問題となっている「過年度災害復旧工事等に係る未払金の発生について」に関する業者の請負があった場合、どういう扱いになるのか</p> <p>2 高梁市の水泳に関する考え方について</p> <p>(1) 水泳環境に関する高梁市の方針について問う</p> <p>① 高梁市の義務教育では、小学校だけで水泳に取り組んでいる。以前は中学校でも取り組んでいたが、なぜ行われなくなったのか</p> <p>② 高梁市には市営プールが2カ所あるが、施設の概要及び本年度の利用実績について問う</p> <p>③ 旧川上郡内には市営プールがなく不便を感じるとの声があるが、高梁市の認識と今後の方針を問う</p> <p>(2) 水難事故防止のための着衣水泳及び救急法の講習について高梁市の方針を問う</p> <p>(3) レジャーまた健康増進の観点から、一年通して利用できる屋内プールの要望を市民からお伺いすることがあるが、以前旧「ゆ・ら・ら」においてそれに類する施設があったが、今後高梁市では整備される方針はないのかを問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	1 2	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>3 新規卒業者就職支援について</p> <p>(1) 「就職」という節目を捉えて、高梁市内の企業等に就職してもらうということは、定住化になるとともに、若者が地域に残れば地域の活力にもつながると考える。しかし、現実問題として市民の方からは「高梁市には仕事がない」という声を耳にすることが多くある。ただ、有効求人倍率を見ると平成 29 年 6 月現在で 1.62 と高い数値で推移しており、決して仕事がないわけではない。そこで、高梁市の方針を問う</p> <p>① 高梁市が負担金を出している団体に高梁地区雇用開発協会があり、協会において「高梁地域企業ガイド」という冊子が発行されているが、その活用方法について問う</p> <p>② 高梁市として地元での「就職」に力をいれていくべきだと考える。ハローワークと協力して、企業誘致のように積極的に市が企業の求める人材と新規卒業者就職支援のかけ橋になれるものか高梁市の方針を問う</p> <p>③ 高梁市の公務員採用試験に地域採用枠を設けることができるのかを問う</p>
5	1	7 番 石 井 聡 美	<p>1 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 有害鳥獣対策室について、現状の活動状況を問う。今年の有害鳥獣の被害状況や、それについての対応はどうなっているのか</p> <p>(2) 対策室ができて、具体的な成果は上がっているのか</p> <p>(3) 今後の活動について、明確な数値目標はあるのか</p> <p>(4) 全国には、集落ぐるみの取り組みで成果を上げている地域もある。高梁市でも協力集落を募集して、集落単位でのまとまった対策を行なってみてはどうか</p> <p>(5) 有害鳥獣の出現情報に関するマップやデータについて、インターネットを活用した情報共有はできないのか</p> <p>2 市街地の産業振興について</p> <p>(1) 現状の企業誘致のための施策は、工場誘致を想定しており、SOHOでは使いづらい。個人事業主や少人数で運営される小規模オフィスを誘致するための施策を講じてみてはどうか。また、若い起業家やクリエイターに無料で部屋や事務所を提供することで、高梁市に移住を促すことはできないか</p> <p>(2) ある程度職種を絞って、高梁市に不足している部分を補完する形での、インキュベーションをすべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	1	7 番 石 井 聡 美	<p>(3) 地元産業と、移住者のアイデアを結びつけるビジネスセンターが必要ではないか</p> <p>(4) 国が推進しているリモートワーク（テレワーク）は、地方の小規模事業者と都市部の大企業をつなぐことができる。リモートワークにはPCリテラシーやネット回線利用に関する知識が必要になるので、勉強の機会を提供したり、勉強に対する補助を出したりすることはできないか</p> <p>(5) 空き家や空き店舗は、老朽化でそのままオフィスに使えないものも多い。使われていない家や店舗を高梁市が買い取り、店舗や事務所として貸し出すことはできないか</p> <p>3 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 今後の活用方法について方向性は出ているのか。出ているなら、その方向性を問う。出していない場合は、方針の決定を含めた今後の構想を問う</p> <p>(2) 旧「ゆ・ら・ら」に置かれていたトレーニングマシンを、各地域の市民センターや市民体育館などに移して使用することはできないのか</p>
6	2	4 番 森 上 昌 生	<p>1 高梁市の危機管理について</p> <p>(1) 宇治町遠原地区におけるツキノワグマの出没に関する対処について</p> <p>① 地域住民に対する情報伝達を研究すべきではないか</p> <p>② 状況判断に遅れはなかったか</p> <p>(2) 8月8日に起きた水道水の濁りに関して</p> <p>① 水道の濁りはなぜ起きたのか</p> <p>② 水源池の濁り水がなぜ給水管に入りこんだのか</p> <p>③ 水源池に監視カメラ設置の必要性はないのか</p> <p>④ 市民に対するよりわかりやすい周知方法が必要ではないか</p> <p>(3) 工事費等未払金に関して</p> <p>① なぜこのような事態を招いたのか</p> <p>② 今回の事態をどのように考えているのか</p> <p>③ 責任の主体はどこにあると考えるのか</p> <p>④ 今後どのような対策によって再発を防ぐのか</p> <p>2 高梁市の文化施設の運営状況について</p> <p>(1) 成羽美術館が高梁市の中央美術館としての役割を果たすためには</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	2	4 番 森 上 昌 生	<p>① 市として指定管理者に市全体で活用されるための提言はされているのか</p> <p>(2) 高梁市歴史美術館の役割と性格について</p> <p>① なぜ歴史博物館ではなく、歴史美術館なのか</p> <p>(3) 高梁市文化交流館の利用について</p> <p>① 施設利用や料金について、利用者サイドに立った運営がなされていないのではないか</p> <p>3 高梁市立地適正化計画について</p> <p>(1) 生活サービス機能の計画的配置はどのように行うのか</p> <p>(2) 人口密度の維持はどのようにして行うのか</p>
7	3	16 番 宮 田 公 人	<p>1 太陽光発電用地の売買に関する規制について</p> <p>(1) 郡部においては、山林、農地、遊休地の荒廃が一層進んでいる。そうした中、松原町陣山地区では、太陽光発電用の用地が大規模に開発されたが、法面の崩土により近隣への影響が出ている。個人対業者間の土地取引であっても、一定面積を超える場合には何らかの規制を設けるべきではないか。担当部局の見解を示すこと</p> <p>2 耕地管理・路側帯管理における雑草対策について</p> <p>(1) 例年、夏期には耕地管理のため雑草対策として草刈り作業が必須となる。経費、労力、両面において負担の大きい作業である。こうした中で、刈り取ることから雑草を生やさない工夫への発想転換が必要と考える。各社から防草シートが販売されているが、これらの購入・敷設について一定の補助を行うことが有効な手段と考えるが、担当部局の見解を示すこと</p> <p>(2) 県道・市道・農道の路側帯の草刈り作業についても、防草シートの敷設や防草コンクリート施工によって対症療法から原因療法に切り替えた予算措置や県への要望もすべきではないか。担当部局の見解を示すこと</p> <p>3 過年度災害復旧工事に係る未払金の発生について</p> <p>(1) なぜ、205 件、1 億 255 万 8,150 円について、平成 24 年度から平成 28 年度までの長期間に渡って業者からの請求がなかったのか。また、行政側も支払い事務手続きを行わなかったのか理由を示すこと</p> <p>(2) 今回、個々の工事について再積算を行い、支出すべき金額を算定しているが、この積算根拠資料は業者提出によるものなのか、行政サイドの資料によるものか示すこと。また、工事完了現場との実測照合を行っているのか示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	3	16 番 宮 田 公 人	<p>(3) 8月21日の全員協議会の説明では平成24年度以前にはこのような不正な事務処理は発見できなかったとのことだった。なぜ突然平成24年度からこのようなずさんな処理が始まってしまったのか、その原因根拠を示すこと</p> <p>(4) こうした予算措置のない発注が入札による工事の後に行われた場合、入札自体の信憑性に疑義を生じかねないこととなる。入札の公平・公正・透明性の確保の有無について見解を示すこと</p> <p>(5) 今後の再発防止策について考え方を示すこと。また、既に県の入札においては専用の積算ソフトを用いて積算資料が作成されていると聞く。こうした入札システム自体の高度化が必要ではないか。見解を示すこと</p> <p>4 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」再公募の実施について</p> <p>(1) 私は以前から、神原スポーツ公園やハイランドオアシス公園、神原荘との連携を考えながら、温泉施設としての再活用に向けた再公募の実施を対案として示してきたが、どのような結果になろうとももう一度公募をかけるべきではないか。現時点の方針を示すこと</p>
8	11	5 番 石 部 誠	<p>1 過年度災害復旧工事等に係る未払金の発生事件について</p> <p>(1) 今回の未払金発生事件の詳細な説明を求める</p> <p>① 発生原因、職員の対応、上司との報告相談について</p> <p>② 対応業者や地域・要望者・地域との連絡や関係について</p> <p>③ 今回の発覚理由について</p> <p>④ 平成24年度以前はどうなっていたのか</p> <p>⑤ 物品購入などでは同様の問題はないのか</p> <p>(2) 未払金発生事件による市政への影響は</p> <p>① 市民への影響、業者への影響、市職員への影響について、どのように捉え、どのように対応していくのか</p> <p>(3) 教訓を導き出し、悪しき慣習を断ち切る、健全な市政運営が必要ではないか</p> <p>① 反省から生まれる今後の再発防止策は</p> <p>② 行った工事は市民生活を支えるために必要な工事だったのか。そもそも当初予算が少なすぎたのではないか</p> <p>③ 教訓を導き出し、悪しき慣習を断ち切る、健全な市政運営を求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	11	5 番 石 部 誠	<p>2 介護保険について</p> <p>(1) 平成 29 年の介護保険の制度改正で、市民生活にどのような影響が起きているか</p> <p>① 介護保険利用者や施設利用者の人数と原状と今後は</p> <p>② 制度改正でサービスを使えなくなる要介護 1・2の方はどうなっているの</p> <p>(2) 必要な人が安心して使える介護保険の充実を求め、市から国へ要請すること。また、市の認定は利用者の立場で行い、軽減措置を充実することを求める</p> <p>① 福祉と介護事業のために地域資源の掘り起こしと可視化が重要ではないか</p> <p>② 地域づくりのためのコーディネーターの養成をしたらどうか</p> <p>③ 必要な市民に自分の暮らす地域資源のマップ作成をしたらどうか</p> <p>④ 市の介護認定は利用者の立場で行い、軽減措置を充実することを求める</p> <p>3 県統合後の国保税について</p> <p>(1) 県統合と統合後の国保税の今後のあり方について</p> <p>① 今後の予算編成の考え方は。また、加入者や市民負担はどう変わるのか</p> <p>② 市として激変緩和措置や一般財源からの繰り入れを行うことで、国保税の一層の負担軽減を求める</p> <p>4 障害者雇用について</p> <p>(1) 高梁市の障害者雇用の現状と対応について</p> <p>① 倉敷市で問題になっている就労継続支援 A 型事業所の高梁市の現状は</p> <p>② 制度改正により事業所の支援や現状はどうなったのか</p> <p>③ 市としても障害者や事業所への支援の拡充と、新規事業者を迎える施策が必要ではないか</p>
9	8	6 番 三 村 靖 行	<p>1 防災対策について</p> <p>(1) 近年、日本全国で狭い地域に集中して雨が降るいわゆるゲリラ豪雨が至るところに発生し、大きな被害をもたらしている。もし、本市にこのような災害が起きたらどのように対応するのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	8	6 番 三 村 靖 行	<p>① 災害対応は高梁市地域防災計画に詳しく記されているが果たしてマニュアルどおり行動できるのか。本番を想定して訓練する必要があるのではないか</p> <p>② 市内に指定避難場所は 118 カ所あるが、インフラが不通になっても機能するようにあらかじめ準備する必要がある。生活の基本である電気が長期間に渡って停電した場合に備えて自家発電設備を設置して対応すべきではないか</p> <p>2 地域のまちづくりについて</p> <p>(1) 市内の周辺地域では人口減少、少子化で疲弊している。雇用の場の減少、学校の廃校、高齢化により、後継ぎ不足、農地の荒廃化、このような状態をいかに立て直すか、高梁市の大きな課題である。どう考えるのか</p> <p>① この問題解決のため、新しい部署を立ち上げて本格的に取り組むべきではないか</p> <p>② これからは、地域へ活力を与える地域の特性を生かした施策の展開が重要である。そのためには地域のリーダーを育成し、行政主導ではなく、民間主導、地域の中から盛り上がった意識を生かすことが地域振興につながる。アイデアと実行力のある地域のリーダーになるべき人材を育成することが行政の責任ではないか</p> <p>③ 自らが積極的に研修したいという意識のある者へは助成したらどうか</p>
10	6	13 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 高梁市図書館について</p> <p>(1) 来館者の開館からの推移はどのような状況か</p> <p>(2) 職員数と勤務体制はどのようになっているのか</p> <p>(3) 利用者アンケートの内訳と「要望」はどのようなものか</p> <p>(4) 今後の図書館の指定管理の経営方針について問う</p>
11	4	15 番 川 上 博 司	<p>1 障害者自立支援について</p> <p>(1) 障害者の雇用について</p> <p>① 総社市の障害者 1,000 人雇用の取り組みについて本市の見解を求める</p> <p>② 国の就労継続支援 A 型事業者制度の一部変更を受けて本市にどのような影響があるのか</p> <p>③ 今後の対策をどのように考えているのか</p> <p>(2) 障害者の定住について</p> <p>① 障害者グループホームの設置状況はどうなっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	4	15番 川上博司	<p>② サービス事業管理者資格取得への支援と学生マンションの障害者グループホームへの改築補助を検討できないか</p> <p>2 国保制度改革について</p> <p>(1) 今後のスケジュールはどうなっているのか</p> <p>(2) 保険者努力支援制度について</p> <p>① 特定健診・特定保健指導の実施率をどのように向上させていくのか</p> <p>② がん検診の受診率の向上はどのようにしていくのか</p> <p>③ 糖尿病等の重症化予防の取り組み状況はどうか</p> <p>④ 広く加入者に対して行う予防・健康づくりの取り組みの実施状況はどうか</p> <p>(3) 子ども医療費助成にかかる国保の減額調整の見直しについてどのように対応されるのか</p>
12	5	1番 森和之	<p>1 過年度災害復旧工事等に係る未払金の発生について</p> <p>(1) 市として再発防止策の強化に努めるのは当然のことだが、下がったイメージの回復も必要である。信頼回復策について執行部の考えを聞きたい</p> <p>(2) 農林課、建設課、上下水道課以外の職員の当事者意識が低すぎるという声が聞こえる。市としての考えを聞きたい</p> <p>(3) 財政の事案だけに、市で取り組んでいる山田方谷の大河ドラマ化活動にも多大なる影響を及ぼすのではないか</p> <p>2 8月8日に起こった水道水の濁りについて</p> <p>(1) 市の上水道の水源と仕組みを説明してもらいたい</p> <p>(2) 今回の濁りの原因は一体何だったのか</p> <p>(3) これからの取り組み（改善策と再発防止策）</p> <p>(4) 防災メールと広報車による広報だけでは不十分と考えるが、市民への広報活動に問題はなかったか</p> <p>3 高梁市立地適正化計画について</p> <p>(1) 高梁市街地（都市機能集積地域）での計画について聞きたい</p> <p>① 駅周辺（南町・旭町）の一方通行解除は可能か</p> <p>② 市民生活に重要な消防庁舎建てかえ計画はあるのか</p> <p>③ 市街地にも多く存在する空き家の取得をスムーズに行えるような方法はないのか</p> <p>4 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 再活用予定業者の決定に透明感がなく、過去に市民の不満が噴出した前例がある。現在の検討状況はどうか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 2	5	1 番 森 和 之	(2) 市民からは温水プールを含んだ健康増進施設としての再稼働を望む声も高いが、執行部の考えを聞きたい